

令和5年度 第5回 浜松市立西都台小学校運営協議会 会議録（要点記録）

1. 開催日時 令和6年2月21日（水）午後1時10分～午後3時10分
2. 開催場所 西都台小学校 2階 研修室
3. 出席委員 竹山慎太良、野島治代、鈴木正慶、竹村義秀、吉野好永、田澤健司、寺田茂紀、明戸良美、坂下奈生子
4. 欠席委員 松下正行
5. オブザーバー 徳増宏之（入野協働センター所長）
6. 学校 井口幸英（校長）、藤井早苗（教頭）、伊藤啓太（教務主任）、和久田里恵（CSディレクター）
7. 傍聴者 なし
8. 会議録作成者 CSディレクター 和久田里恵
9. 議長の選出  
竹山委員が、本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。
10. 協議事項  
（1）来年度の学校運営の基本方針について  
（2）学校運営協議会の自己評価
11. 会議記録  
司会の藤井から、委員総数の過半数の出席があるため、会議が成立している旨の報告があった。  
（1）来年度の学校運営の基本方針について  
議長の指示により、校長から別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。
  - 学校教育目標実現に向け、学校が変わることは良いことだが、変化があると混乱もあるので、保護者に丁寧に説明してほしい。（竹山委員）
  - とても手厚い教育で、校長先生を始めとした先生達の熱意も感じ、本会議の場だけの説明ではもったいない。保護者にも説明し、家庭も巻き込み「みんなでやっていこう」という雰囲気高めたい。（坂下委員）
  - 限られた時間で子供一人一人を見るのは大変で、先生の負担が大きくなるのではと心配になった。（明戸委員）
  - 「主体性」は大事だが、ついていけない子供のフォローもお願いしたい。（鈴木委員）
  - 授業参観だけでなく、担任の先生から「うちのクラスはこうです。こんな困ったことがあります。」というような話を聞いたら、学校についての理解がより深まったと思う。（竹村委員）
  - タブレット学習や、自ら考え行動するような学びも大事だが、漢字の書き順のような基礎学力もとても大事なことなので力を入れてほしい。（吉野委員）
  - 学校になじめない子、行けない子の対応も取りこぼしのないようお願いしたい。（野島委員）
  - とても熱意を感じたが、この学校経営の構想に応じていく子供も先生も大変。一人一人への気持ちの配慮をお願いしたい。（田澤委員）
  - 子供がやりたいと企画したことを、PTAでサポートして一緒にやる機会があってもいいかなと思う。（寺田委員）
  - 登校時刻を徹底するため、昇降口の開放を7時40分以降として校内外で待つということだが、夏

だと直射日光のもと外で待つのは大変。待つ場所が日陰だと安心。また、交代で大人の付き添いが一人いるといいと思う。(寺田委員)

- 自立登校の日だけでなく、集団登校の日も先生に見に来てほしいというボランティアからの声がある。自立登校だと登校時間の幅が広がり、差が大きいので家を出る時間を保護者と学校とで相談できないか。(坂下委員)
  - 自立登校だと8時ぎりぎりの子もいる。余裕がないと事故にも遭いやすそう。(鈴木委員)
  - 自立登校にて友達同士で登校する際、安全な場所で待ち合わせをするよう指導することが必要だと思った。(明戸委員)
- 協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

## (2) 学校運営協議会の自己評価

- 去年に比べて意見が活発で、濃い熟議ができた。(竹山委員、吉野委員、田澤委員)
- ワークショップとしてCS委員と教師と一緒にグループ協議をできたのが、とてもいい熟議になった。(田澤委員)
- この運営協議会に子供が参加するのも面白いし、逆に子供たちが行う会議に参観として入るのもいいと思う。(竹山委員)
- CSサポーターの募集を来年も引き続き行い、より多くの方に参加してほしい。(坂下委員)
- もっと地域に目を向けていきたい。(明戸委員)
- PTAの形も時代に合わせて変わりつつあるので、学校運営協議会とPTAとが連携し、すみ分けをして負担を減らしていけるといい。(寺田委員)

## その他報告事項

(PTA 寺田委員より)

竪穴住居の葺き替え作業が自治会の協力もあり、2月10日に全ての作業を完了できた。

司会から、次回会議は、令和6年4月24日(水)午後1時10分から西都台小学校2階研修室で、開催する旨の報告があった。また、年間回数を4月24日(水)、7月24日(水)、9月25日(水)、12月11日(水)、2月19日(水)の5回と予定している。